



経験こそが強み
創業・起業希望者の
心よりどころに

「あおりフルール」の活動に加わった背景は？
三上さん 県から声を掛けていただいたのがきっかけです。私が創業した頃は今ほど支援制度などが整備されておらず、知識もなくゼロからのスタートでした。

あおり女性創業サポーターズ「あおりフルール」
みかみともこ
三上 友子さん(弘前市在住)
PROFILE
弘前市出身。パソコンスクール勤務を経て、2005年に人材能力開発やコンサルタント業務などを担う株式会社I・M・Sを設立。2020年に県が始めた取り組み「あおりフルール」のメンバーに任命され、先輩起業家として創業・起業を希望する女性たちをサポート。



交流会(オンライン配信あり)での「あおりフルール」の活動の様子。先輩起業家として、創業までの経緯や現在の仕事の内容についての体験談を披露。

三上さん 難局を乗り越えてきたからこそ伝えられることがあります。経営の楽しさも苦労も両方経験しているというのが強みですね。あと、子育て中の女性に寄り添えるというのも、実際に

「活動する上での自分の強みとは？」
三上さん 難局を乗り越えてきたからこそ伝えられることがあります。経営の楽しさも苦労も両方経験しているというのが強みですね。あと、子育て中の女性に寄り添えるというのも、実際に

だからこそ創業・起業を希望される方々の役に立ちたいという気持ちがありましたし、一般的に男性経営者が多い中で、女性経営者が集まって活動する取り組みを県が始めると聞いて、単純にうれしかったというのがあります。メンバーになったことは、女性経営者同士の横のつながりができるきっかけにもなりました。今では仕事の話よりもプライベートの話の方が多し気はしますが(笑)、メンバーとの交流は刺激と癒しになっています。

三上さん 人生は一度きりなので、踏み出してみるのもいいと思います。ただ、創業・起業するのは簡単ですが、事業を継続していくのは難しい。現在のライフステージや自分にとっての理想をしっかりと分析した上で決断することが大事だと思います。

三上さん 人生は一度きりなので、踏み出してみるのもいいと思います。ただ、創業・起業するのは簡単ですが、事業を継続していくのは難しい。現在のライフステージや自分にとっての理想をしっかりと分析した上で決断することが大事だと思います。

経験したからこそだと思えます。
「創業・起業を迷っている方へのアドバイスをお願いします。」
三上さん 人生は一度きりなので、踏み出してみるのもいいと思います。ただ、創業・起業するのは簡単ですが、事業を継続していくのは難しい。現在のライフステージや自分にとっての理想をしっかりと分析した上で決断することが大事だと思います。



ミニ特集1

自分らしく、はたらく。あおもりで。

県では、「らしく、はたらく AOMORI」をキャッチコピーに、県と県内企業など官民が一体となって、新卒者の県内就職促進プロモーションを展開中です。
青森県は自然が豊かで、おいしいものがたくさん！首都圏や全国と比較して、平均通勤時間が短く、その分を自分の時間に使って、プライベートもエンジョイできます。また、認定こども園の数(0~5歳人口1万人当たり)が全国で1位、待機児童もゼロなので、子どもを預けられないかも、という心配も不要。安心して仕事と子育ての両立ができますよ。
現在就職活動中の皆さんも、これから就職活動を迎える皆さんも、自分らしく、安心して働ける青森県での就職を考えてみませんか。



青森県内での就職に役立つツール

青森県公式アプリ
シューカツアオモリ

青森県内の企業情報、就活イベント情報などが満載!ダウンロード無料、個人情報登録は不要で、すぐ利用できます。

あおもりで、働く。
青森県公式就職情報サイト
あおもりジョブ

約770件の求人情報と約1,050社の企業情報を掲載!

「あおもり県内就職促進パートナー企業」

募集中心! 県では、高校生・大学生等の県内就職を促進するため、県とともに県内就職の魅力発信に取り組む企業や団体を募集しています。ぜひ「あおもり県内就職促進パートナー企業」にご登録いただき、「自分らしく働ける」県内就職の魅力と、ともに発信していきましょう!

登録方法など、詳しい内容は県のホームページをチェック

らしく、はたらく AOMORI

県内就職に関する支援制度・イベントの情報は 青森県 就職支援 検索
労政・能力開発課 ☎017-734-9398

ミニ特集2

やってみよう! 手話であいさつ

県では、言語としての手話についての理解とその習得の促進を図るため、「青森県手話言語条例」を制定し、令和2年7月に施行しました。
「手話」は、手指や体の動き、表情などにより表現される、音声言語とは異なる「言語」です。日常生活や社会生活において、手話を使って生活しているろう者にとっては、筆談や字幕よりも手話を使った方がわかりやすい場合があります。
令和8年に開催される、第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌(きら)めきあおもり障スポ」には、ろう者の選手もたくさん来県します。県民の皆さんも、手話にチャレンジしてみましょう!



ありがとう
垂直に置いた左の手のひらを上に上げる



おつかれさま
右の拳で左腕を軽く2回たたく



こんにちは
①人差し指と中指を立てて、額に当てる(「昼」の手話)
②両手の人差し指を向かい合わせ、同時に曲げる(「あいさつ」の手話)

青森県手話講座動画配信中心!

気軽に手話を学べる動画を配信しています。もっと手話を学んでみたい方は、青森県聴覚障害者情報センター YouTubeチャンネルをチェックしてください。

チャンネル登録はこちら

詳しくは 青森県手話言語条例 検索
障害福祉課 ☎017-734-9309